

国際理解教育
総合的な学習の時間
SDGsに関する授業づくりに

世界を知り、世界に目を向ける JICA九州 開発教育プログラム

小学生向け

対象：小学生3年生～6年生



詳しくは
裏面をチェック

もっと知ろう、もっと世界を感じよう！

JICA九州開発教育プログラム 小学校向けおすすめコンテンツ

JICA研修員との交流プログラム

開発途上国から日本の技術を学びに来ている研修員（その国の国づくりの担い手となる行政官や技術者など）と**言葉だけではない多様なコミュニケーションを通じて交流を行うプログラム**です。プログラムを通して、それぞれの国の文化や価値観に触れることができます。また、児童が日本文化を紹介する場合などは、研修員にとって**も日本を知る貴重な機会**となっています。

国際協力出前講座

JICA海外協力隊員経験者が小学校に出向き、派遣国での生活、文化、ボランティア活動などの体験談をお話します。**文化の違いをどのように乗り越えたのかや、自分が考える「当たり前」が他の国では「当たり前」ではないこと、またどのような考えで活動に臨んだかなど、経験者ならではの目線で講話**します。小学生が興味をもてるよう、現地で使っていたグッズや民族衣装など、**実物を紹介**することも可能です。

※講師派遣には講師料および交通費のご負担をお願いいたします。

きゅうしゅう地球ひろば訪問プログラム

北九州に位置するJICA九州「きゅうしゅう地球ひろば」の訪問プログラムです。クイズやゲームを通じて学べるSDGsに関する常設展や各時期のトピックスに合わせて展示内容を変える企画展、その他にも民族衣装の試着や触れる世界の民芸品などなど、**児童の関心を高める展示が盛りだくさん！**また、**きゅうしゅう地球ひろば見学と共にJICAの事業紹介や世界の状況を理解する体験型ワークショップなどを組み合わせた学習プログラム**もご提供いたします。まずはお気軽にご相談ください！

学習例（JICA研修員との交流プログラムの場合）

※各プログラムは事前・事後学習の実施を推奨いたします。
学習に必要な教材などもございますので、お気軽にご相談ください。

事前学習

- ・研修員の出身国を調べる
- ・研修員の国のJICAの活動を調べる
- ・海外に紹介できる日本文化を考える

学習当日

- ・研修員との交流を通して開発途上国の一部を知る
- ・交流体験を通して多様なコミュニケーションを学ぶ
- ・日本の文化を再認識する

事後学習

- ・自分のまわりと世界の国とのつながりを考える
- ・学んだことを振り返り、活動をまとめ、発表する
- ・自分たちができる国際協力について考える

など

利用者の声

初めて外国の人と交流し、つがれてとても楽しかった！（小3児童：研修員との交流プログラム利用）

いろいろな国にきょうみを持ちました。生活の中でいろいろな人と友達になっていきたいです。世界についてもっと調べてみたいです。（小4児童：国際協力出前講座利用）

日本がいろいろと海外に支援を行っていることがわかりました。日本では物がそろっているけど、それはふつうじゃないんだと感じました。（小6児童：国際協力出前講座利用）

子どもたちは様々な教科の学習で「国際交流」について学ぶ機会が多いのですが、ODAやJICAの取組みなどの「国際協力」について学ぶことは6年生の社会科学学習のみです。資金や技術の提供についてなど、教科書だけでは詳しくわからないことも沢山学ぶことができました。（小6担任：きゅうしゅう地球ひろば訪問プログラム利用）

問い合わせ先

特定非営利活動法人 九州海外協力協会（本事業業務委託）
〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1 JICA九州内
TEL: 093-671-8678 E-mail: kaihatsukyoiku@npo-kyushu.or.jp

JICA九州
開発教育支援事業
のご案内

